

第4回

東大和市社会教育委員会議 会議録

令和6年7月16日（火）

令和6年度第4回東大和市社会教育委員会議のまとめ

- 1 日 時： 令和6年7月16日（火）午前10時～午前11時30分
- 2 場 所： 中央公民館 視聴覚室
- 3 出席委員： 池田陽子、外池武嗣、才郷正次、杉本誠一、森脇千春、
橋本智保子、半田道夫、鈴木進也（8人）
欠席委員： 和田孝（1人）
- 4 事務局： 岩野生涯学習課長、小泉生涯学習係長、荻沢主事、岩淵主事
（4人）
- 5 内 容： 議題（1）研究テーマについて
議題（2）その他
- 6 公開・非公開： 公開
- 7 傍聴者数： 1人
- 8 配布資料： 資料1 令和6から7年度提言研究の主題設定に向けて
資料2 コミュニティスクールについて
資料3 令和6年度東京都市町村社会教育連絡協議会第1回
理事会の資料の抜粋
地域学校協働活動推進ハンドブック／公民館だより第269
号／ハミングホールイベントのチラシ

9 議事内容

(1) 研究テーマについて

研究テーマについて以下のとおり議論した。

①コミュニティスクール

事務局より、資料2及び地域学校協働活動推進ハンドブックを用いて説明した。

・事務局

コミュニティスクールについての研修会は、現在、日程の調整をしている。しかし、本日の議論の中でもコミュニティスクールについての話題は出てくるため、簡単に事務局よりコミュニティスクールについて説明した。

・委員

コミュニティスクールは、学校運営協議会委員と共にどういう学校づくりをしていくのか考えていくことと、地域と保護者と学校とで子ども達をしっかりと見て行くことが主な内容である。

・委員

学校運営協議会委員が学校の方針や様子を全て把握することは困難であるという問題はある。しかし、地域と学校が対等な立場で意見を交わし、より良い地域又は学校を作っていこうという、すごくいい制度だと思われる。

・委員

校長先生が変わると方針が変わる。場合によっては学校運営協議会委員の意見が出しづらくなることもある。校長先生と地域の人がうまく関係を保てる環境が大事である。

・委員

市内に学校運営協議会を設置している学校がどのくらいあるのか。配布された資料に東大和市は地域学校協働活動推進事業を行っていないとなっているが基準は何か。実際の学校と地域の連携はどのような仕組みになっているのか。

・委員

学校運営協議会は市内小中学校全てに設置している。それぞれの学校がそれぞれの地域の方に声をかけて学校運営協議会を結成している。

・委員

地域学校協働活動推進事業は地域学校協働本部を設置しているかと思われる。東大和市は設置できていない。各学校等が中心になって同

様のことはしている。

- ・ 委員

地域学校協働本部は、どの組織が作ることになるか。

- ・ 委員

市や教育委員会である。

- ・ 委員

地域学校協働本部をどうやって作るかを市に提言するのが研究テーマとして良いのではないか。

- ・ 委員

コミュニティスクールについては、学校教育の話になってしまうのではないか。

- ・ 委員

コミュニティスクールの中には、部活動地域移行もその一つである。提言の中に入れてもいいと思う。

- ・ 委員

コミュニティスクールは大きい枠である。社会教育として何ができるか考えていけたらと思う。

(2) その他

事務局から2点事務連絡を行った。

- ・ 事務局

東京都市町村社会教育委員連絡協議会第1回理事会について報告した。平和市民のつどいについて周知した。

- ・ 副議長

本日の会議のまとめを行った。

- ・ 議長

第4回東大和市社会教育委員会議を終了する。

- ・ 事務局

次回は研修会を予定しているため、日程や場所については委員の皆様に変更して連絡する。